カリキュラム

機構施設名： 静岡職業能力開発促進センター
実施機関名： **株式会社Gサポート**

26-22-12-072-067

B. 生涯キャリア形成	072 経験を活かした職場の安全確保（未然防止編）
役割の変化への対応	

コースのねらい	中堅・ベテラン従業員がこれまで培った安全衛生の要点や企業における安全衛生活動、様々な現場で培った経験を融合させ、企業における危険を事前に見極めて行動し、職場の安全衛生の意識の高揚を図るための知識と技能を習得する。

	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間（H）	日程 月日	日程 時刻
講義内容	1	中堅・ベテラン従業員に求められる役割	（1）先人としての役割 ①事例に見る、災害対応における先人の教訓の重要性 ②事業運営における「知識」の重要性 ③培った「知識」を次世代に伝えていくことの責任 【演習】個人ワーク＆ディスカッション ⅰ）これまでの職務経験を振り返り、経験から得た安全確保における要点を洗い出す。 ⅱ）後輩に伝えるべき安全確保の要点をまとめる。	1.0	令和8年 12月15日（火）	9:30～16:30 昼休憩 12:00～13:00
			（2）周囲とのコミュニケーションによる役割の確認 ①ベテラン社員に期待されるコミュニケーション力 ②若手社員を指導育成し、けん引する役割 ③職場における規範となる役割 ④管理者をサポートする役割	0.5		
	2	企業における安全衛生活動	（1）危険予知活動とヒヤリ・ハットの進め方 ①ハインリッヒの法則を理解する。 ②危険予知活動の流れを確認する。 ③危険予知の着眼点 【演習】グループワーク（ケース演習） ４～５人のグループでケース事例を精査し、危険予知情報を洗い出し「危険予知ボード」に整理・発表し、講師が講評する。	1.0		
			（2）リスクアセスメントの必要性と進め方 ①危険予知活動との違い 作業や設備や業務全体に対してのリスク対策であることの認識 ②リスクアセスメントの手順と評価方法について ③リスク対策と改善計画の着眼点 【演習】グループワーク（ケース演習） ４～５人のグループでケース事例に対するリスクアセスメントを行い、改善計画を策定し「リスクアセスメント表」に整理・発表し、講師が講評する。	1.0		
			（3）客観的な職場巡視の進め方 ①効果的な職場巡視の準備 危険予知活動やリスクアセスメント結果から情報を集める ②職場巡視での質問のテクニック 事象を深堀する質問の方法を学ぶ。	0.5		
	3	安全対策	（1）チェックリスト作成のポイント ①労働安全衛生チェックリストの作成の目的 ②チェックリスト作成時のポイント（網羅性、具体性、優先度） 【演習】グループワーク ４～５人のグループで、ケース事例に対する労働安全衛生チェックリストを作成・発表し、講師が講評する。	1.0		
			（2）職場環境及び作業における安全対策 ①経験を踏まえた職場の労働安全衛生計画の立て方 ②安全衛生に関する作業マニュアルの作成方法 【演習】グループワーク ケース事例に対し、安全衛生に関する作業のポイントを特定し、作業マニュアルを作成する。	1.0		
			合計時間	6.0時間		

カリキュラム作成のポイント

本コースを受講する社員層は、中堅クラス・ベテラン社員層であることを想定し、自身の職務経験を振り返り、後輩を育成していくことについての自覚を促すとともに、自社で安全衛生活動を進めるためのリスクアセスメント、点検、安全対策等のスキル習得を中心に作成しています。グループ演習においては、画像や動画による豊富な事例をもとに、現場で適用しやすい着眼点を習得していただくことを重視しています。